

24/9/10 名古屋市議会経済水道委員会（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし

委員長 豊田薫（減税・中区）：経済水道委員会を開会いたします。この場合ご報告いたします。

先ほど行われました総務環境委員会において、当委員会において、5月31日および6月18日に開催された所管事務調査にて提出された資料の内容に関連し、三副市長から委員会提出資料の考え方が示されたところでございます。

本件につきまして、当局より発言を求めておられますので、よろしく願いいたします。

局長：失礼します。本日予定されております案件に先立ちまして、一言申し上げたいと存じます。

令和6年5月30日および6月18日開催の当委員会に提出いたしました名古屋城天守閣木造復元市民向け説明会の総点検についての資料に関しまして、先ほど開催されました総務環境委員会におきまして、三副市長の共通認識が報告されたところでございます。その内容の要点をお伝えさせていただきます。

さきの名古屋城天守閣の木造復元師向け説明会に関する総点検は、職務の執行の公正さに対する市民の信頼を確保する目的で行ったものであり、その方法としては関係職員の証言による以外なかったことから、ヒアリング結果を包み隠さず報告するという方針で対応したものです。

しかしながら今回このような特別な事情があったとはいえ議員と職員とのやり取りについて、当事者の一方である議員に確認を取らずに報告書に記載したという点で、正確性の担保が不十分でありまた記載内容としても、委員会資料として提出するにあたり適切な判断が行われなかった点があったと考えております。副市長として改めてお詫びするとともに、市として今後このようなことをないように全庁に徹底してまいります。以上のような内容の報告がございました。

当局といたしましても重ねてお詫び申し上げるとともに、十分に反省をし2度と同じことを繰り返すことのないようにしてまいりたいと考えておりますのでご理解賜りますようよろしくお願いいたします。以上でございます。

委員長 豊田薫（減税・中区）：お聞き及びの通りでございます。

本件につきまして、委員長といたしましても今後2度とこのようなことがないように、当局におかれましては資料調整の際に十分にご注意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

浅井正仁（自民・中川区）：全くもって納得いかないんだけど局長。まず三副市長から考えが示された。冒頭言われたんだけど、この資料が出てうちの団長は三副市長と面談をしま

した。そのときに中田、杉野両副市長は違和感がありますとね、観光文化交流局の所管のある松雄副市長に限っては、ちょっと言葉を忘れたんですけども、適正ですみたいなことを言われたって聞いてんだけど、ちょっとそのときの何を言われたか、まずはそこから調べてもらえるかな。

何で今日に至って考え方が変わったのか、うちの団長はこういう資料は本当にいいのかと言って三副市長に面談したいと思っています。それと、今言った文面の中で、よくわかんないから、文面でいただけるかな。

紙でね、二度とないようにって二度とこういう資料は出さないってことでしょね、やり取りは出さないってことでしょ。要はそういうことだよね、なんであなたたちが決めるの。この間の委員会が終わったから。なんでこの間は良くて、今回これから先は駄目なの。いやこれから局長と副市長のやり取りだとかさ、全て私は資料でもらうつもりだったんだけど今日からは駄目なの。どういうことなんだろう。まず委員長、今言ったことをね、ちょっといただきたいと思います。

それと、今日、大事なこの請願がありますよね。とりあえず請願だけ先にやられたらどうなんですか、委員長。

それぐらい仕切ったらどうですか。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 請願先にやらさせてよろしいですか。正副でちょっと協議させていただきます。では、先に請願審査の方を行いたいと思います。

本日は、観光文化交流局関係の請願審査を行った後、引き続き観光文化交流局関係の所管事務調査を行います。

初めに、請願審査を行います。

（略）

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 他にございませんか。他にご発言もないようであります。

それでは本件の取り扱いについてであります。正副委員長といたしましては国の動向を注視しつつ、なお慎重に審査する必要があることから本日のところは保留といたしたいと存じますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。それではさよう取り扱わせていただきます。以上で請願審査を終了いたします。

浅井委員、先ほどのお話ですが紙の資料は今すぐご入用でしょうか。

田中里佳（民主・天白区）： 委員長、あなたは委員長ということをちゃんと理解していますか。わかってますか。

この委員会において委員長ってのは一番の権限ですよ。

私は今、皆さんのおかげで議長やらせていただいていますけど、この委員会では何の権限もないんです。

そのあなたの委員長の仕切りで今この流れになりましたよね。さっきの説明もようわからん。なんで、総務環境で他の委員会で行われたことがここに波及するのか、うちの委員会は解決はしてないけれども、一応議論は終わったと私は認識してるんですね。なのにも関わらず、何かその訳がわからない理屈というか流れて、先ほど局長話をされましたけど、何でそれを今日、冒頭でそれをやらなきゃいけないのか、それ何か喋られる、発言されるっていうことは聞いてるんですよ、聞いてたんですよ、

委員長 豊田かおる（減税・中区）：先ほど聞きました。

田中里佳（民主・天白区）：内容も大体わかってるんですよ。けどこの大事な請願審査とか、その後の MICE とかっていうのも、それもなんというか、もっとねちゃんと仕切ってよ。もしそうだとしたって冒頭言いたって言っても、いやいや先にこっちをやらなきゃいけないから、それはまた改めてとかその後でとか、それまた他の委員の人にも確認してからじゃなきゃ駄目じゃないですか。だって浅井委員のさっきの発言に対していろいろ異論があったり資料もあったりとかって、長引くに決まってるじゃないですか。やんなきゃいけないことがあるでしょう。

委員長 豊田かおる（減税・中区）：そうですね

田中里佳（民主・天白区）：どうしてそれを他の委員会から行われたことでこういうことになってるの。あなたの権限でそれはまた今度にしますとか後でしますとかいくらでも言えるでしょう。なんで言わないの。はいはいごめんなさいじゃないよ、わかってもっとちゃんと委員長っていうことを。

委員長 豊田かおる（減税・中区）：申し訳ありません。

田中里佳（民主・天白区）：申し訳ありませんで済むと思う感じ、この流れ。どうやって仕切るの。もう一回仕切って。

委員長 豊田かおる（減税・中区）：では、次に、観光文化交流局関係の所管事務調査の方を先に進めさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいですか。

浅井正仁（自民・中川区）：さっきのあれ、局長の陳謝だな。あの陳謝は委員会のあり方、全てが問われる発言なんだよね。違う。

委員長 豊田かおる（減税・中区）：そうですね、そうだと思います。

浅井正仁（自民・中川区）： 今から委員会やるんだよね。
委員会の根本も変わるのに、どうやって何をやればいいのか。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 今、浅井委員のご発言もございましたが、まず観光文化交流局関係の所管事務調査を進行させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

田中里佳（民主・天白区）： そうやって委員長が仕切られるならそうなのかもしれないけど、この流れでいや MICE も大切だよ。なんかそんな呑気な議論できるかみたいなのが私にはちょっとあるんだけど、どうするの。
何かこの流れでいける。だとしたらもう最初からこっちをポンポンとやらなきゃいけなかったでしょう。
最初に仕切らなきゃいけなかったでしょう。中途半端な仕切りじゃないですか。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 議長のおっしゃる通りだと思います。

田中里佳（民主・天白区）： いやいや褒められちゃったけど。ちょっと一回きちっと整理してもう一回やって。暫時休憩で正副で話をしてもういいし、いやいやとりあえずこのミスだけやりたいっていうなら、それならそれで委員長の権限ですから承りますので、一回ちょっときちんと流れを、そしてその MICE にやった後でもいいです。その後に、先ほどの浅井議員の発言やら資料とかがってというのはどうしていくのかってということも含めてね。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： わかりました。では正副委員長でちょっとこの後の進行について協議させていただきますので、暫時休憩させていただきます。

○： こんな状態で暫時休憩はいいけど、これ暫時休憩するって大変なことだからね。それだけわかってくださいよ、いやいやすぐにとかすぐじゃなくて暫時休憩されて、持ってこられるってどういう流れでやるかっていうところをちゃんとしていただかないと、あなたの責任問題に繋がりますからねということ言ってます。いいですか。以上です。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： このまま MICE を続けさせていただいてから集計する。それでは暫時休憩とさせていただきます。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： ただいまから経済水道委員会を再開いたします。
休憩前に、浅井委員からご発言がありました件につきましてご報告いたします。
最初に団長と三副市長とのやり取りに関しましては、当局に尋ねましたところ確認するのに時間を要するということでしたので、確認が取れ段階でまた正副で協議させていただきます。

ご発言を紙にするということに関しましては、正副委員長と協議いたしました結果、本日のところ委員会としての資料を紙で、案件ではございませんので提出はいたしません。ご理解賜りたいと存じます。

それから局長より二度とこのようなことがないようにと、謝られた件につきましては、該当委員の方に確認もしないでということをおっしゃられたのかなという理解ではございますが、局長にもう少し詳しくご発言をお願いいたします。

局長： 冒頭、三副市長の見解という形でお詫びした件につきましては2点ございます。一つはこういうやり取りがあった場合に、もう一方の当事者についての確認をせずに資料を出したことが申し訳なかったということでございます。正確性を確保するというそういったことからでございます。

もう一点は議員との間の生々しいやり取りというか、本来、内々のやり取りに書き関することを委員会資料として、として提出することに妥当性というか、必要性とかそういったことにつきましても、それやっぱり議会との信頼関係の上ののっって、我々仕事してるもんですからそこは出すべきではないというそういう反省をいたしましたし、前回の委員会でもその辺につきましてはご説明させていただいておりますので、その2点につきまして今後二度とそういったことを起こせないというそういう趣旨の発言でございまして、そのことをその三副市長は確認していただきましたし、私もそのように認識をしているということでございます。以上です。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 私の方からも、当局におかれましては資料調整の際に十分ご注意いただきますよう、よろしくをお願いいたします。よろしいでしょうか。

浅井正仁（自民・中川区）： 今の話してるんじゃないくてさ、今後の話を聞ってるんじゃないんだよね、副市長に。前回、出たときの話を聞ってるんであってね、そのやり取りを聞いてきてくださいと言ったんですよ。

今後の話はさっき聞いたからね。今局長が今日お話されたこともペーパーで出せないの。なんで出せないの。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 案件ではないので、

浅井正仁（自民・中川区）： 案件じゃなかったら何で今日喋るの。誰が許可したの。案件じゃないのに何で冒頭、あなたの仕切りで局長が喋ったでしょ。何で案件じゃないのに喋らせたの。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 謝りたいというご発言があったのでお許しいたしました。

浅井正仁（自民・中川区）： 答えになってません、案件か案件かじゃないって、委員長は先ほど言われました。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 正式な資料としては提出できないというそういったことでございます。

浅井正仁（自民・中川区）： 何言ってるかわかんない。正式な資料、資料なんか出てないじゃん。

だったら口頭だったら何を言ってもいいわけ。今日は何の委員会ですか。今日の喋った案件あります。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： ありません。

浅井正仁（自民・中川区）： 意味がわかんない、あなたの言ってることも、委員長。局長が何を喋られたのか教えていただきたいと思います。僕は全部が全部把握できなかった。要点だけで結構です、教えてください。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： もう一度、局長の方から、

浅井正仁（自民・中川区）： いやいや委員長に聞いてんです、委員長はわかったからペーパーで出さなくてもいいって言ったんでしょ。委員長わかんないでしょう。

今日局長が謝ったってこれ陳謝でしょう。局長の陳謝ってそんな軽いもんなの。

局長の今日の委員会によって、今後の委員会の流れは全然変わるんですよ。

僕が聞いたのは、適切な判断はできないとか何か言われた、局長が。ってことはあの資料は駄目だったことだ。じゃ今から MICE やるんだけど、この資料だって何をもって信用できるの。これ間違っと思ったらまた陳謝すりゃええとおもっとなの。それをあなたは認めるの。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 浅井委員は冒頭に局長が陳謝されたことについて異議を唱えていらっしゃるのか。

浅井正仁（自民・中川区）： 全てにだよ、全てについてだよ。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 一旦、先回といいますか、この委員会からは離れた案件だというふうに私は思っておりましたが、それを局長がお気持ちなんでしょうね、謝りたいというふうにおっしゃられたので、許可させていただきましたが、

浅井正仁（自民・中川区）： だったらね、謝りたいなら謝りたいでね、事前にあなたたちがもっと調整するべきだ。正副やられたんだよね。じゃあ聞くけど、正副委員長さんたちあなたたちは委員長と同じ考えだったのか、どっちなの。

○： 今日の正副の委員長会においては、私の認識ではこの件いわゆる謝罪をされるという件についてはどうかなということで委員長の方には伝えてありますので、正副で一致して今回の判断をしたというふうには私は思ってはいません。以上です。

○： 私の方で発言を求められておりますんで、流れというか私の認識についてお話ししますと、冒頭正副委員長会の中でも、そういった流れというのは一旦こういうふうな形で行いたいという要望はあったんですけども、実際、総務環境委員会の状況だとか、そういったところを踏まえてという議論の中で、結局最終的にそれをどう取り扱うかということに、私としては決定をして、委員会が進んでいたという認識はありません。

浅井正仁（自民・中川区）： なんかずれがあるよね。

前回の資料に関してもね、提出するのは確か田中議長さんの方から発言があったと思うんだけど、正副で決めたんでしょっていう発言をされたと思うんだけど、まさしくそうだよね。敢えてあのとき聞かなかったんだけど、あんときはね、後から私は北野副委員長に聞かさしてもらったら、北野副委員長は違和感があると発言されたらしい。でも最後委員長はこれでお願ひしますみたいなこと言われたらしいんだけど、そうだったかな。ちょっと確認をさせていただきたいと思います。

○：私の方からはですね、先ほど正副委員長会では局長さんが重ね重ねになりますけれども、この委員会の冒頭にですね、こういった発言をするのはどうかなということを書いてました。

浅井正仁（自民・中川区）： 前回の5月の委員会の資料ABCDが入ってる資料のときに、正副に諮られたと思うんだけど、そのときもね委員会が終わってから、北野副委員長の方に聞いたら、いや僕も違和感があるって言いましたと。

そんなときも、あなたは違和感があったのか、副委員長お2人は、どうなんですか、

○： その前回のときの時点でも違和感があったということはありませんね。それは事実です。

浅井正仁（自民・中川区）： そうするとやっぱ最後は委員長が決めるんだよね。申し訳ないんだけどなかなか今日、冒頭陳謝されても、当事者としてはなかなか納得いかないんだよね。

1回目の資料のときにね、資料を見せていただいた、控え室で。僕は何も言わなかった。

そして委員会がありました。そしてそのときにも資料を要求させていただきました。
そしてその資料も確か総務課長さんと庶務係長さんか当時の、じゃないか。今の課長補佐がお持ちになりました。

そのときに何かありますかって言われたんだけど、僕はこう答えました。

「いやあなんか言ったらまた書かれるで何も言わんわなど。平場でみんなやらさしていただく」って言ったら、総務課長さんは「覚悟してます」と言った。覚悟してるってことは、今後もこのやり方で行くって言うようなもんだ。

でも今回この資料、局長はもう行いませんって、それが三副市长の方針です。なかなかそこは納得いかないよね。

自分たちの都合の悪いものは出さずに、別にあれが悪いとは思ってないけどね僕は、それを踏まえてね、委員長も今回のこの流れの中でそういう判断をする。これはどうなのかなと思うんだけど、どうなんでしょう、他の委員の方。ご意見がないでしょうか。

小出昭司（自民・中村区）： 委員長、動議。私の方から動議を提出をさせていただきたいと思えます。

今浅井委員の方からですね、委員長が長い時間を使って正副をやってこられた結果について、いろいろご指摘がありました。そんな中においてもですね本日の委員会運営においてこの大混乱。

正副もですね、非常にその意見が一致していない状態で、運営をですね、中途半端な状態で進めて、この委員長自体が名古屋市議会の委員会というのはどういうふうなものかというふうに考えているのが本当に信用が置けないようなというふうに思えるぐらいの状態を起こしてると、私自身は今回感じてます。

これまでの所管事務調査の資料調整の件においても様々な問題が生じてます。豊田委員長のもとでは今後この委員会運営が円滑にいくとは、私は到底思えません。

今後もですね、この観光文化交流局においても、名古屋城木造復元事業の総点検という非常に重要な案件もありますし、経済局も名古屋市民の明日の生活に関わる大変なことがいっぱいあります。水道局においても命に関わる問題がいっぱいあります。そんなようなこの重要な委員会において、もはや豊田委員長に私は委員長を委ねることはできません。

よって豊田委員長に対して不信任動議を提出をさせていただきます。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： ただいま小出委員から、委員長不信任動議が提出されました。

賛成者 1人以上の確認はございます。賛成者があり本動議は成立しております。

本動議は一身上の問題でありますので、北野副委員長と交代し退席させていただきます。

北野お願いします。

委員長 北野よしはる（自民・守山区）： それでは副委員長の私が委員長の職務を代行をさせていただきます。

ただいまこの場合お諮りをいたします。

先ほど提出されました豊田委員長の不信任動議に関し豊田委員長より一身上の弁明が求められております。これを許可することとしてよろしいでしょうか。

ご異議なしと認め発言を許可することとし、豊田委員長にご入室をいただきます。

それでは豊田委員長に一身上の弁明をお許しをいたします。

委員長 豊田かおる（減税・中区）： 精一杯務めさせていただこうと思っておりましたが私の未熟な点、皆さんにご迷惑をかけたことも多々あったかと思えます。皆様のご判断をいただき仰ぎたいと思っております。よろしく願いいたします。

委員長 北野よしはる（自民・守山区）： それでは、豊田委員長は退室願います。

それではただいまから豊田委員長に対する委員長不信任動議について起立により採決を行います。本動議に賛成の方の起立を求めます。はい起立多数であります。

よって、本動議は可決をされました。この場合、議事の都合により委員会を暫時休憩をいたします。

委員長 北野よしはる（自民・守山区）： それではただいまから経済水道委員会を再開をいたします。

この場合、豊田委員長から委員長の職を辞したいという旨の申し出がありましたので、委員長の辞職許可についてを議題に供します。それではお諮りをいたします。

豊田委員長の辞任を許可することといたしまして、異議ありませんか。

ご異議なしと認めさよう決定をいたします。それでは、これより委員長の互選を行いますが、互選にあたりましては、慣例により投票の煩を避け指名推選によることといたしたいと存じますがよろしいでしょうか。

大谷ともひろ（減税・緑区）： それでは僭越ではありますが、私から指名させていただきます。

委員長に北野よしはる副委員長を指名いたします。

委員長 北野よしはる（自民・守山区）： それではただいまの大谷委員の指名の通りに決しましてご異議ありませんか。ご異議なしと認めてさよう決定をいたします。

ただいま図らずもこの年度途中という中ですね、委員長就任ということでご指名をいただきました。大変至らぬ点多いかと思えますが、円滑な委員会運営に努めてまいりますので、委員の皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、当局の皆様におかれましても

ご協力をお願い申し上げまして一言ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、私が委員長に就任をいたしましたので副委員長長の互選を行います。

この場合、互選にあたりましては、慣例により投票の煩を避け、指名推選の方法によることといたしたいと存じますがご異議ありませんか。ご異議なしと認めてさよう決定をし、どなたかご指名をいただきたいと存じます。

大谷ともひろ（減税・緑区）： それでは僭越ではありますが、私から指名させていただきます。

副委員長に赤松哲次委員を指名いたします。

委員長 北野よしはる（自民・守山区）： ただいまの大谷委員のご指名の通り決しましてご異議ありませんか。ご異議なしと認めてさよう決定をいたします。

なお、副委員長の委員長職務代行順位についてであります。申し合わせによりまして、第1順位赤松哲次副委員長、そして第2順位さかい大輔副委員長とさせていただきますのでご了承をお願いいたします。

先ほど浅井委員からご発言のありました件につきまして、正副委員長で協議をいたしました結果、本件につきましては当局で確認が取れた後、正副委員長にご報告を願いたいと存じますが、念のため当局に再度確認ですが、三副市長の当初の考え方や考え方の変遷については、本日中にお答えいただくのは難しいかどうか、お答えをいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

局長： 確認には時間を要するかと思いますので、本日中の作成は難しいというふうにご考えております。以上です。

委員長 北野よしはる（自民・守山区）： ただいま局長からのお答えの通り、本日中には大変難しいということでありました。

この後の予定をしておりました所管事務調査については三副市長の当初の考え方などについての確認が取れた後に改めて実施することとしてよろしいでしょうか。

それではさよう取り扱わせていただき、その日程等については正副委員長にご一任を願います。本日の予定は以上であります。これにて本日の委員会を散会いたします。

お疲れ様でした。